

在宅避難のために 今 できることは？

世田谷区には色々な助成制度や防災用品・消火器のあっせんもあります

区のホームページなどを参考にして家族で話し合しましょう

自宅の耐震

1981年5/31以前の木造住宅の耐震診断無料、耐震助成



家具の転倒防止対策

高齢者や障がい者、要介護者へ家具転倒防止器具への支援制度



ブロック塀倒壊の危険性
生垣緑化助成制度



消火器・火災警報器のあっせん

消火器や住宅用火災警報器の購入古い消火器の引き取りのあっせん



食料・日用品の備蓄

家族に合ったものをローリングストック法(普段使いのものを使ったら補充)で備蓄



世田谷名木百選



第5回 桜丘すみれば自然庭園のクロガネもち 桜丘 4-23

名前が「金持ちに重なる」ことから縁起木として好まれています。この庭園は、元植村家の跡地で、持ち主の話によると、当時「武蔵野の風景を作りたい」として、かなり広大な敷地に木を植えたそうです。

庭園の中ほどに、桜、モミジ等の木と一緒にのびやかに植わっています。5月～7月に小さな淡紫色をした花が咲き、秋にはナツメ形の実となり熟して緑の中に赤く散点しているのが目を引きま。

樹齢は80年ほど、幹周は153センチメートル、高さは9.4メートル。

“共助”は“近所” まちぐるみで！ 防災士・女性防災コーディネーター

災害時の自助・共助・公助の割合は、7:2:1といわれていますが、調査によれば、阪神・淡路大震災で救出され生き延びた人の80%以上が、“共助”により救出されたとされています。公助は初期にはアテになりません。一週間先になるかもしれず、それまでは自助・共助で頑張らないといけません。とはいえ、共助に手が回るのは、自助がしっかりできてから、という事になります。

自助は自分の責任です。在宅避難の基本となる家の被害を防ぐには、家の耐震化と家具の固定、家具の配置やガラス類の破損対策などがあります。備蓄は一週間分、多ければ多いほど安心です。ただし、自分や家族に合ったものを準備しましょう。多様性が叫ばれる中、配慮を必要とする家族に合わせて用意しておくことが、まわりのすべての人にもやさしい準備になるでしょう。

他人を思いやる共助は2割。大変な状況の中でこそ、人として試されると思います。個人情報保護が声高に主張されていますが、町にどんな人がいるかわからなければ、共助も難しくなります。一人では乗り越えられません。ルールを守り、協力して乗り越えるためには、顔の見える関係、普段の付き合いが大切です。助けを必要とするときは遠慮なく「助けて！」と声を上げましょう。「誰かがやってくれる」の受け身ではなく、一人ひとりができることを、準備し協力して、少しでもストレスを少なくし、まちぐるみで乗り越えることを考えましょう。

ミニコミ紙 編集委員 水野直子



お経ちゃん

お経ちゃんのお ふれあいかわら版

第74号

発行 令和6年3月
 発行者 身近なまちづくり推進協議会
 ミニコミ紙部会
 事務局 経堂まちづくりセンター
 宮坂1-44-29
 TEL 3420-7197
 FAX 3420-5710

大地震 それは今日かも！
その時、あなたは・・・



**避難所を開設するのは現地の町会
運営は皆さんの協力で**

まずは自助！余力があれば近助

きんじょ

経堂地区町会防災活動

町会	訓練実施状況(※)		町会所有の防災資機材					食料・飲料備蓄		避難する場所(経堂地区での指定避難所)	
	防災訓練	避難所訓練	スタンドパイプ	救出用資機材	発電機	リヤカー等運搬機器	その他	非常食	飲料ポトル	指定避難所	一時集合所
経堂1	○	○		○	○	○		○		桜丘小学校	経堂大橋公園 烏山川緑道(中村橋)
経堂北	○	○	○	○	○	○	D型消防ポンプ	○		経堂小学校	石仏公園 経堂小学校
経堂南	○	○	○	○	○	○	D型消防ポンプ	○	○	桜丘小学校	経堂4丁目児童遊園 南台公園・南公園 桜丘小学校
宮坂1・2	○	○	○	○	○	○	D型消防ポンプ			世田谷小学校	世田谷八幡宮駐車場・経堂出張所/経堂まちづくりセンター・世田谷小学校・山下公園・桜木中学校
宮坂3	○	○	○	○	○	○	無線機	○	○	経堂小学校	山下西公園 山下公園 経堂小学校
桜丘1	○	○	○	○	○	○	トランシーバー	○	○	桜丘中学校	桜丘小学校 桜丘中学校
桜丘	○	○	○	○	○	○	D型消防ポンプ	○	○	桜丘中学校 笹原小学校	桜丘3丁目児童遊園・西原公園・桜丘中学校・稲荷森稲荷神社・桜丘こぶし公園・笹原小学校・弁天公園・桜丘5丁目公園・桜丘すみれば庭園・桜樹広場
桜丘南	○	○	○	○	○	○	投光器	○	○	笹原小学校	宇山稲荷神社 笹原小学校

(※ コロナにより一部中止あり)

避難所の役割①

家で暮らせなくなってしまった人の生活する場所



避難所の役割②

“在宅避難”を受け付けサポートする
在宅避難者にも支援物資を配給
ボランティア派遣依頼を受付

家で過ごせるなら在宅避難を!



区内の被害予想

地震による死者の6割が火災によるもの
3割が家屋の倒壊によるもの

初期消火

自分で消せる目安は 炎が目の高さまで
それ以上は逃げる!



避難する時は

ガスの元栓を閉める
電気のブレーカーを落とす

ライフラインの復旧まで

- 電気 3日~1週間
 - 上水道 1週間~1ヶ月
 - 下水道 3日~1ヶ月
 - ガス 1ヶ月~
 - 通信 1週間~1ヶ月
- (東京都HP 地震被害想定から)

最優先は“トイレ準備”!

下水管の破損の可能性あり。確認できるまで水は流さないで!(マンホールトイレ含む)

下水道が使用できるかの確認

- ① 下水道局の情報確認
- ② 浄化槽、汚水ます等の点検
- ③ 水が問題なく流れるか

非常用トイレを使いましょう

便器破損の場合は



便座の下側にビニール袋1枚
ズレないようにテープで止める

便座の上からビニール袋をもう1枚
用を足して凝固剤を入れる
(紙おむつ・猫砂・新聞紙等で代用)



2枚目の袋のみ取り出し処分

ゴミ回収まで保管しておく

火事を出さない様に!

情報の取り方

- ・テレビ・ラジオ
- ・世田谷区ホームページ
- ・エフエム世田谷
- ・広報車
- ・避難所の掲示板
- ・SNS

防災ポータルを開設
(令和5年9月)



家族や知り合いの安否確認

- ・伝言ダイヤル171 Web171
- ・携帯会社の安否情報サービス
- ・Google パーソンファインダー
- ・SNS

